

科目名	精神保健福祉研究 [院]					単位	2.0
担当教員	安井 理夫						
授業形態	講義	開講期間	集中	配当年次	1	授業番号	8014

●授業のテーマ

精神に障害を抱えた人たちへの支援について考える

●到達目標

障害者自立支援法の課題について理解できる

「精神保健福祉」とソーシャルワークの関係について理解できる

ソーシャルワークの価値や方法にもとづいた支援を発想できる

●学習内容(授業概要)

「精神保健福祉」という用語は、必ずしも精神に障害を抱えた人たちへのソーシャルワーク支援と同義ではない。本講義では、「精神保健福祉」が誕生した経緯やその課題をふまえたうえで、精神に障害を抱えた人たちへの支援を、ソーシャルワークの価値や方法にもとづいて発想し、自己実現や社会的自律性の獲得につなげていくにはどうすればよいのかについて考察していく。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション
2. 「精神保健福祉」という用語が誕生した経緯をめぐって
3. 精神に障害を抱えた人たちに関する法律・制度の歴史
4. 障害者総合支援法のあらまし
5. 障害者総合支援法の改正点と課題
6. ソーシャルワークと「精神保健福祉」
7. 「障害」概念と「QOL」概念
8. 生活理解の方法
9. 精神保健福祉と権利擁護
10. 権利擁護と新しいアプローチ
(エンパワメント、ストレングス、ナラティブ)
11. 自己実現と社会的自律性(1) 統合失調症を抱えた人たち
12. 自己実現と社会的自律性(2) アルコール依存症を抱えた人たち
13. 自己実現と社会的自律性(3) 薬物依存症を抱えた人たち
14. 精神障害を抱えた人たちへの支援とセルフヘルプ・グループ
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前学習 シラバスに示されたテーマについて自分の考えをまとめておく

事後学習 講義や討議の内容をふまえて自分の考えをまとめる

●成績評価方法・基準

授業への参加状況(50%)、レポート(随時)(50%)

●テキスト（必携）

必要な資料をその都度配布する

●参考文献／その他

1. 安井理夫『実存的・科学的ソーシャルワーク』明石書店 2007年
2. 太田義弘編著『ソーシャルワーク実践と支援科学 理論・方法・支援ツール・生活支援過程』相川書房 2009年

●履修上の注意